

国史跡妻木晩田遺跡 整備活用基本計画（抄）

国史跡青谷上寺地遺跡  
整備活用基本計画（詳細化）報告書（抄）

国史跡 妻木晩田遺跡  
整備活用基本計画



鳥取県教育委員会

2003

## 第6章 活用の場の提供に関する計画

### ◆これまでの活用事業の実施状況と今後の課題

#### ①事務局（鳥取県教育委員会事務局等）主催の活用事業について

妻木晩田遺跡においては、平成12年度の公開以来さまざまな活用事業を実施し、遺跡におけるより良い活用方策や情報発信の仕方を模索してきた（Tab.17）。基本構想に示しているように、情報を学術分野、観光・イベント分野、教育分野等に分類し、発信対象、有効な手法、タイミング等を検討してソフト事業の展開を図ってきた。

学術分野としては、研究者、学生から関心の高い一般市民までを対象にしたもので、シンポジウムや出前講座等を毎年行ってきており、一定の成果を収めつつある。これは、また、一定期間に積み重ねた調査研究の成果を公表し、社会に還元していく場でもある。

観光・イベント分野では、春と夏に簡易な古代体験事業を中心とした「まつり」を実施し、それぞれ「新緑まつり」、「秋麗まつり」として定着してきている。弥生時代の生業等を題材としつつも、遺跡に高い関心がない人びとや家族連れでも参加しやすい内容であることを目指している。

教育分野では、妻木晩田遺跡の自然環境を活かした自然観察会を外部講師の協力を得て毎年春と秋に実施しているほか、夏休み中に発掘調査体験を含む考古学講座を実施している。また、本格的な古代体験として、竪穴住居づくりや土器づくり等にも取り組んでいる。

これらの事業は、さまざまなレベル、分野の関心に応えるためのもので、妻木晩田遺跡の特性を活かしつつ事務局が主催してきたものである。これらは概ね参加者の好評をいただきつつも、実施にあたっての体制や運営面で課題も見えてきている。地域住民や関係機関との連携が弱い点は、今後改善していかなければならない。また、活用事業の基本的な概念の整理も重要な課題であり、ともするとあらゆる活用事業が同一のトーンで、さまざまなニーズを考慮せずに企画される場合がある。

なお、ここで重要な点は、常に弥生時代集落遺跡としての意義やフィールドとの関係において事業を実施している点であり、遺跡と直接関連をもたないイベント的事業は意図的に行っていない。この点についてご批判をいただくこともあるが、遺跡がもつ特長や魅力を活かした活用でなければ、遺跡で行う意味はないと考える。

#### ②市民による活用事業について

一方、地元有志によるボランティアガイドや本格的な古代体験から派生した土器づくりのグループが生まれるなど、より市民レベルの活動も育まれつつある。また、民間団体が企画するウォークラリー等のコースやボーイスカウト等が行うオリエンテーリングの場として利用される例も増えつつある。なお課題とすべき点は多いが、このような取り組みがさらに深化し、洗練され、さまざまな分野でより多くの人びとによる活用が進むことが望ましい。

地域の人びとに利活用されてこそ遺跡の現代的意義がある。遺跡整備とは、上記のような活動の舞台を準備することでもあろう。また、今後の支援策等についても配慮すべきである。

第3部 整備活用基本計画

Tab.17 妻木晩田遺跡における活用事業（鳥取県教育委員会主催分）の実施状況（平成15年度8月現在）

①学術的な分野

項 目	内 容	実施日時	参加人数
<b>シンポジウム</b>			
むきばんだフォーラム in 鳥取 I	『むきばんだをみんなで楽しもう』	平成11年9月12日	
環日本海圏歴史文化研究会議	『古代の交流に夢をのせて－環日本海歴史文化研究会議の記録－』	平成12年11月8日	
国史跡指定1周年記念シンポジウム（第1回）	『倭国大いに乱れる－むきばんだは語る』	平成12年12月10日 米子コンベンションホール	270名
日韓合同鉄器文化シンポジウム（第2回）	『日本海（東海）がつなぐ鉄の文化』	平成13年11月11日 米子コンベンションホール	250名
第3回妻木晩田弥生文化シンポジウム	『日本海をのぞむ弥生の隅々－環壕から見える弥生社会とは？－』	平成14年11月24日 米子コンベンションホール	300名
<b>エクスカーション（シンポジウム前日の遺跡見学等） 淀江町教育委員会、大山町教育委員会と共催</b>			
H12年度	妻木晩田遺跡、上淀尻寺見学、淀江町宇田川公民館：古代食	平成12年12月9日	103名
H13年度	妻木晩田遺跡、大山寺見学、大山町高麗分館：おふくろの味	平成13年11月10日	62名
H14年度	妻木晩田遺跡、上淀尻寺見学、白鳳の里：会席料理	平成14年11月23日	80名
<b>現地事務所企画展・ロビー展示等</b>			
H12年度	企画展：『鳥取県の弥生時代』、ロビー展示：むきばんだ絵画コンクール		
H13年度	ロビー展示：むきばんだ写真コンクール、野焼き実験成果品（猪風来氏作）		
H14年度	展示室展示替え：環壕土層はぎ取りパネルの設置、ロビー展示：創作弥生土器（弥生の暮らし復元事業の成果）展示、住居復元過程写真パネル展示		
H15年度	展示室展示替え：環壕ジオラマの改修		
<b>出前考古学講座</b>			
H13年度（1）	県立米子高等学校（対象：3年生）	9月3日・5、6限	1クラス
H13年度（2）	大山町立大山中学校（対象：2年生）	3月18日	88名
H14年度	県民文化会館第1会議室（対象：一般）	9月14日	200名
<b>発掘調査の情報の提供</b>			
H12年度	洞ノ原地区重点調査現地説明会	H13年4月1日	100名
H13年度	洞ノ原地区重点調査現地説明会	10月28日、11月3日	100名
H14年度	妻木山地区5区重点調査現地説明会	12月7日	100名
H15年度	H14年度調査の写真パネル展示（ロビー）	4月～	
ホームページ、発掘調査ニュース等での情報提供		随時更新	

## ②生涯学習的な分野、学校等との連携

自然観察会			
第1回 (H13 春)	山野草の観察とスケッチ、山野草の天ぷらの試食(コース:駐車場周辺～妻木新山地区)	4月29日 講師:鷺見寛幸氏	115名
第2回 (H13 秋)	山野草の観察と葉拾い、野山での遊び方(コース:駐車場周辺～妻木新山地区)	10月6日 講師:竹中聡氏	27名
第3回 (H14 春)	山野草の観察とスケッチ、山野草の天ぷらの試食(コース:淀江産業技術高校～妻木新山地区～淀江産業技術高校)	4月29日 講師:鷺見寛幸氏	62名
第5回 (H14 秋)	山野草、広葉樹の観察、ウッドクラフト、草木染め(コース:展示室～洞ノ原)	10月14日 講師:鷺見寛幸氏	41名
第6回 (H15 春)	山野草の観察とスケッチ、山野草の天ぷらの試食(コース:展示室～洞ノ原)	4月29日 講師:清水斉氏	24名
体験考古学			
第1回 (H12)	通常コース、集中コースの2コース	通常コース:9月～10月の第1・3土曜日	通常コース11名
	内容:第1回「遺跡ってなに?」、第2回「出土品いろいろ!」、第3回「発掘のいろは」、第4回「1日考古学者」、第5回「体験!妻木晩田遺跡」	集中コース:7/31～8/4の毎日	集中コース9名
第2回 (H13)	第1日「身近な遺跡と私たち」、第2日「土器にふれてみましょう」、第3日「体験!発掘!むきばんだ」、第4日「討論会」	8月20日～23日	7名
第3回 (H14)	親子考古学体験として実施。第1日「やさしい考古学」「弥生のムラを歩こう!」「遺物に親しもう」、第2日「発掘してみよう」「暮らしを考えよう」	7月20日～21日	27名
第4回 (H15)	親子考古学体験として実施。第1日「弥生のムラを歩こう!」「考古学って何だろう」「遺物に親しもう」、第2日「発掘してみよう」「暮らしを考えよう」	7月26日～27日	36名
おもに地元の学校等の団体見学、簡易古代体験等の受け入れ			
H12年度	大山町立大山小学校6年生:遺跡解説、火おこし体験等	6月5日	24名
H13年度	大山町立大山小学校6年生ほか1団体:遺跡解説、火おこし体験、土器を使った食体験、勾玉づくり等	平成12年5月9日、11月28日	24名 44名
H14年度	大山町立大山小学校6年生ほか5団体:遺跡解説、展示室解説、石器づくり、火おこし体験、土器を使った食体験、勾玉づくり、土笛づくり等	平成14年5月17日、6月7日、6月21日、7月27日、9月4日、2月28日、	21名、53名、1名、28日、38名、11名
H15年度	大山町立大山小学校6年生:遺跡解説、火おこし体験、土器を使った食体験	平成15年6月4日	25名
職場体験学習、ボランティア活動の受け入れ			
ワクワク大山	大山町立大山中学校2年生の職場体験学習	平成12年～毎年1学期の下旬	毎回 3～5名
ドキドキぼらんていあ	大山町立大山西小学校:地域を活動や学習の場とする体験活動(枝打ち)	平成13年～毎年7月と11月	毎回

### 第3部 整備活用基本計画

#### ③イベント的な分野

イベント			
H12 年秋	拠点施設オープンイベント：狼煙実験、文化財主事の遺跡解説、クイズラリー、記念植樹、野点・バザー、郷土芸能など	11月3日～5日	1,350名
H13 年春	『復元火まつり食まつり』：古代の土器作り、火おこし体験、勾玉作り、クイズラリー、地元特産品販売、ボランティアガイドによる遺跡案内など	5月3日～5日	2,000名
H13 年秋	『秋麗まつり』：弥生土器の野焼き実験、火おこし体験、勾玉作り、魚のつかみ取り、クイズラリー、古代食試食、ボランティアガイド案内など	10月5日～7日	1,239名
H14 年春	『新緑まつり』：火おこし体験、勾玉づくり、石包丁づくり、狩猟体験、古代食試食、復元竪穴住居解説、ボランティアガイド案内など	5月3日	1,280名
H14 秋	『秋麗まつり』：勾玉づくり、魚のつかみ取り、ガラス玉づくり、赤米脱穀体験、古代食試食、復元竪穴住居解説、ボランティアガイド案内など	11月3日	700名
H15 春	『新緑まつり』：勾玉づくり、石包丁づくり、火おこし体験、木材加工体験、復元建物解説、ボランティアガイド案内など	4月29日	1,200名
弥生の暮らし復元（本格的古代体験）			
竪穴住居製作	一般有志の参加による竪穴住居の建築	H13年度～H14年度	40名
弥生土器製作	一般有志の参加による弥生土器製作及び焼成実験	H13年度、H14年度、H15年度	20名、15名、11名

#### ④ボランティアガイド

ボランティアガイドによる遺跡案内			
H12 年度	文化財主事による遺跡の現地解説を実施	5月3日～7日他、随時	
H13 年度～	定時および事前予約団体に対する遺跡案内の実施（平日は午後1回、土日祝祭日は午前午後各1回）	4月～ 平日午後1:30～、土日祝祭日は午前10:30～、午後1:30～	

#### ⑤出版物

妻木晩田遺跡発掘調査研究年報			
H12 年度	妻木晩田遺跡発掘調査研究年報 2000	平成13年3月発行	500部
	「妻木晩田遺跡発掘調査研究史」他		
H13 年度	妻木晩田遺跡発掘調査研究年報 2001	平成14年3月発行	500部
	「妻木晩田遺跡の調査－平成13年度－」他		
H14 年度	妻木晩田遺跡発掘調査研究年報 2002	平成15年3月発行	500部
	「妻木晩田遺跡の調査－平成14年度－」他		
情報誌『むきばんだ弥生だより』等			
VOL.1(2000秋)	はっくつ情報、展示室完成	平成12年11月発行	20,000部
VOL.2(2001春)	妻木晩田遺跡ボランティアガイドの会結成	平成13年3月発行	20,000部
VOL.3(2002春夏)	洞ノ原地区に弥生時代の建物出現	平成14年8月発行	5,000部
VOL.4(2002秋冬)	むきばんだアルバム 2002、これからの妻木晩田遺跡	平成15年2月発行	5,000部

## ◆妻木晩田遺跡活用の考え方

遺構・自然環境・景観の保存に影響を与えない限り、原則的に遺跡（指定地）内のすべての場所でさまざまな分野の活用が可能である。ただし、妻木晩田遺跡でより良い活用を行うにあたっては、遺跡のもつ以下の特長を基盤にした活用を考えることが重要である。

- 弥生時代の大規模集落遺跡であること
- 人と自然環境の関わりの歴史的産物であること
- 地域の豊かな生態環境であること

上記の活用のためには、以下のような基礎条件の整備が必要であり、継続的に実施するとともに、情報発信していくことが重要である。

- 発掘調査および研究（妻木晩田遺跡における生活と文化の検討）
- 古環境調査、地域の民俗誌的調査（人と環境の関わり合いの歴史の把握）
- 環境基礎調査等自然環境の調査（生態系の把握）

なお、Fig.46 に活用事業の流れを掲げておく。

## ◆活用の場を提供するための計画

## ①遺跡で学ぶ活用（生涯学習の場としての妻木晩田遺跡）

教育委員会が提供する学術的な情報提供（シンポジウムや企画展示等）を骨格としつつも、さまざまな利用者によって企画される活用事業の場となることが重要である。特に、歴史学習や環境学習等の生涯学習の場としての活用を進めるにあたっては、学校の授業や地域の教育活動と適切に連携する必要がある。

## ②遺跡を楽しむ活用（妻木晩田遺跡へのさまざまなアプローチ）

妻木晩田遺跡の大きな魅力の一つである景観や自然環境を活かした活用事業を展開する。自然観察会や弥生時代の農事曆にちなんだお祭風イベント等によって、学術的な情報以外の企画・運営を行っていくとともに、さまざまな持ち込み企画、近隣の遺跡や観光資源の振興事業等との連携も図っていく。また、上述の考え方が尊重されるならば、さまざまな活用事業がさまざまな人びとによって行われるよう配慮すべきである。

また、①②のような活用事業を支援するため、展示スペース、会議室、視聴覚室、体験学習室等施設の整備、充実が必要であり、妻木晩田遺跡に関する情報を対象に合わせて効果的な方法で発信することが重要である。

## ◆運営について

各事業の企画・運営については鳥取県教育委員会を含めたさまざまな体制が考えられ、実施段階で最も効果的な連携を図る必要がある。また、そうした企画・運営を円滑に進めるために、利用の手引きの作成や人材育成のための講座等を検討する。

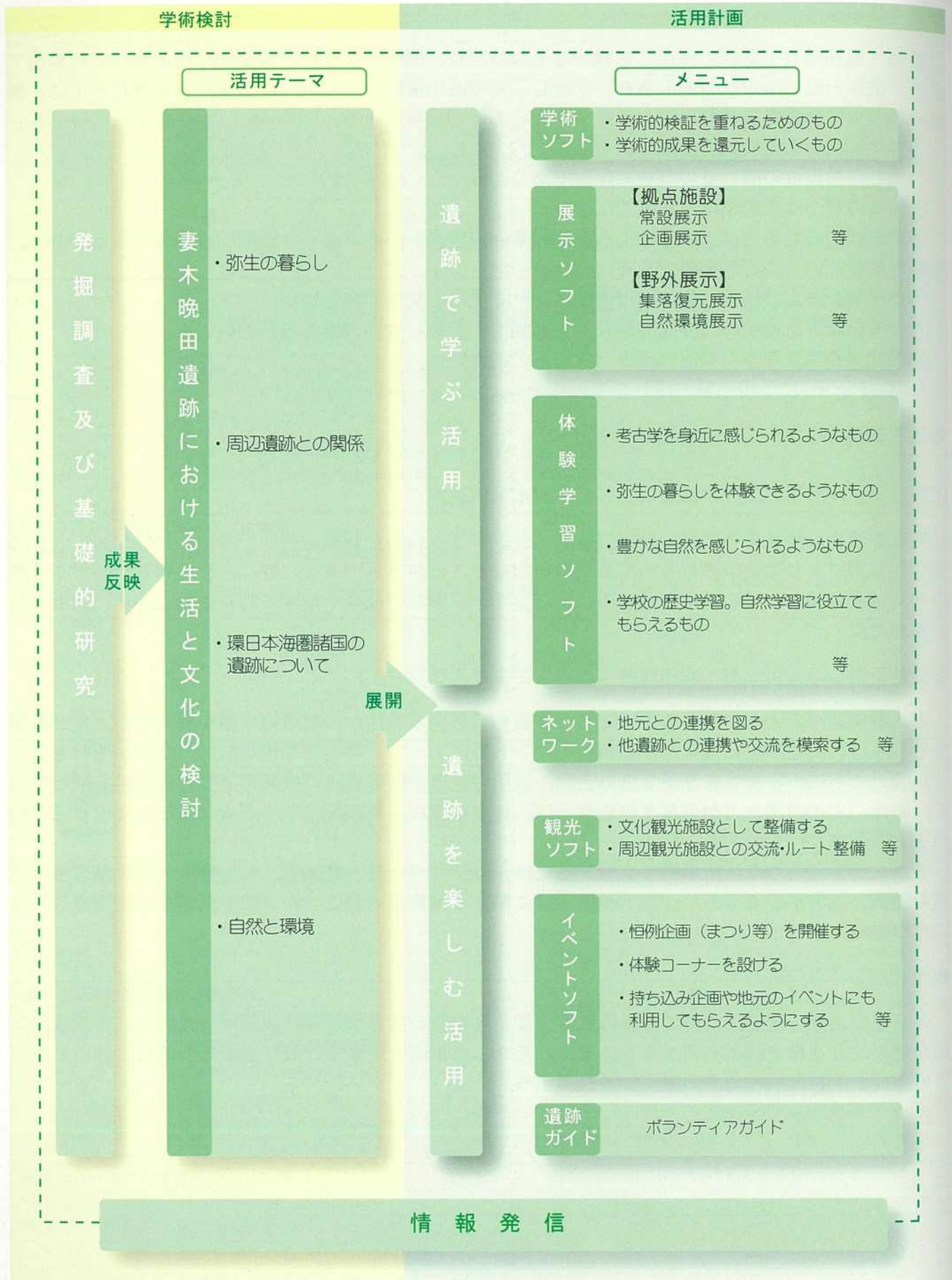


Fig.46 妻木晩田遺跡における活用のフロー



# 国史跡青谷上寺地遺跡

整備活用基本計画（詳細化）

報告書

## 第IV章 活用基本計画

### 第1節 青谷上寺地遺跡の活用テーマ

#### 1 史跡の整備活用テーマ「体感、地下の弥生博物館」

青谷上寺地遺跡は「交易拠点」として発展を遂げた「港湾集落」である。良質な地下水に満たされた低地にあり、通常の遺跡では遺存しにくい有機質の遺物も良好に保存されている。土器や土製品、石器、鉄器や青銅器といった金属器、容器や農耕具、建築部材などの木器、漁撈具を中心とする骨角器、石製・ガラス製玉類、各種の動植物遺体、さらには人骨など、これまでの発掘調査で多種多様な遺物が出土している。2世紀の出土品には、「楼観」の存在を示す長大な柱材、たくさんのト骨、「倭国乱」を想起させる受傷人骨など、魏志倭人伝に記された当時の生活や習俗、そして争いも含めた社会のあり方の具体像にせまる重要な資料が数多くあることも注目されている。また木材などを多用した遺構も良い状態を留めており、溝などに施された護岸施設は、当時の土木技術の高さを今に伝えている。

青谷上寺地遺跡を一言で表するならば、“弥生時代に関するあらゆる情報が地下に眠る博物館”である。2010（平成22）年3月に策定された保存管理計画・整備活用基本計画では「体感、地下の弥生博物館」と活用のテーマが示されている。そこで「体感、地下の弥生博物館」を青谷上寺地遺跡の魅力を共有するための統一テーマと位置づけ、さらに遺跡の代表的な特質をもとに個別の活用テーマを設け、多様な活用を推進していくが、発掘調査研究の進展に合わせて新たな活用テーマを追加するなど、フレキシブルな活用を展開することとする。

なお、今後史跡の活用に取り組むにあたり、広く青谷上寺地遺跡への興味、関心を集めるためには、個別の活用テーマに関連したキャッチフレーズを用いることが有効である。以下、とっとり弥生の王国調査整備活用委員会（整備活用部会）でとりまとめた遺跡の特質と、個別の活用テーマに関連したキャッチフレーズ案を例示する。



写真IV-1 青谷上寺地遺跡出土遺物

## 2 遺跡の特質に関わる個別活用テーマ

### (1) 「弥生時代の本物に感動」

青谷上寺地遺跡からは、デザイン性に優れ、工芸的価値の高い多種多様な考古資料が豊富に出土している。しかも、その保存状態は弥生時代のものとは思えないほど良好である。青谷上寺地遺跡には、さながら弥生時代の文化が丸ごと保存されている。青谷上寺地遺跡の出土品の活用により「弥生時代の本物に感動」することができる事業を展開する。

#### 「弥生時代の本物に感動」キャッチフレーズ検討案

キーワード	キャッチフレーズ案
地 下	地下の弥生博物館 地下に眠る弥生の記憶
弥生時代	弥生時代への誘い 弥生時代のタイムカプセル タイムスリップ弥生時代
弥生世界	弥生世界との邂逅（かいこう） 弥生世界へようこそ
奇 跡	弥生文化が眠る奇跡の遺跡 弥生時代につながる奇跡の扉 青谷上寺地遺跡
感 動	感動は時を超えて 感動が誘う弥生時代
本物（ほんもの）	弥生 ほんもの 青谷上寺地遺跡 弥生時代の本物に出会える遺跡
鼓動	甦る弥生の鼓動 弥生時代の鼓動と息吹

### (2) 「弥生時代の匠を体感」

青谷上寺地遺跡の人々は、山陰地方でいち早く鉄の道具を手に入れ、秀逸な木製の容器類の製作を行うようになった。遺跡が最盛期を迎えた弥生時代後期の「花卉高杯」は弥生時代の木工技術の到達点を示している。精緻に編まれたカゴ類、精巧に継手・仕口が加工された建築部材にも、確かな知識と技術がうかがわれる。また、弥生時代中期には、北陸地方から運ばれてきた石材を用いた管玉づくり、後期には大陸に由来するガラス素材を用いた小玉や勾玉の生産が盛んに行われていた。弥生時代の青谷上寺地遺跡では、様々な職人が「匠」の腕を競い合っていたようである。弥生の「匠」達の作品に人々の鼓動、息吹を感じながら、「弥生時代の匠を体感」する活用事業に取り組む。

#### 「弥生時代の匠を体感」キャッチフレーズ検討案

キーワード	キャッチフレーズ案
匠（たくみ）	弥生の匠の里 弥生の匠と出会う
ものづくり	弥生時代のものづくり王国
鼓動・息吹	甦る弥生の鼓動 弥生時代の鼓動と息吹

### (3) 「倭国乱と倭人社会に迫る」

青谷上寺地遺跡がもっとも賑わっていたのは、『三国志』「魏志（書）」第30巻、烏丸・鮮卑・東夷伝の倭人の条、いわゆる「魏志倭人伝」に記されている倭国の時代である。そして、中心域の東側をめぐる溝からは、総数5,300点の人骨が出土し、日本最古の「脳」の発見は大きなニュースとなった。また多量の人骨の中には受傷痕が観察できるものもあり、殺傷を伴う武力行為に巻き込まれた人が存在したことがうかがわれる。弥生時代後期の人骨が質・量ともに充実した遺跡は希少であり、青谷上寺地遺跡出土人骨は倭国大乱の真実に接近する上で極めて重要である。さらに、近年、急速に技術が向上しているDNAの分析・解析により、青谷上寺地遺跡に暮らしていた人々の系譜が明らかになりつつある。DNAの研究は、弥生時代後期の青谷上寺地遺跡に、どのような人々が集い、暮らしていたかを示唆するものであり、弥生時代における人の交流、社会を復元するヒントを与えてくれる。そこで「倭国乱と倭人社会に迫る」をテーマに情報発信に取り組む。

#### 「倭国乱と倭人社会に迫る」キャッチフレーズ検討案

キーワード	キャッチフレーズ案
倭国乱 (わこくらん)	倭国乱の真実を語る遺跡 倭国乱の記憶
倭人 (わじん)	甦る倭人の記憶 倭人が眠る地 きっと倭人に会える！ 倭人の声が聞こえる 倭人に出会える遺跡 倭人、現る 私たちの始まり (ルーツ)



写真Ⅳ-2 青谷上寺地遺跡出土人骨

#### (4) 「海と交流の歴史を学ぶ」

弥生時代の青谷上寺地遺跡は海のほとりにあった。船の破片や漁撈具などが豊富に出土しており、海での活動が盛んだったことがうかがわれる。また日本列島の各地、さらに日本海を介して朝鮮半島や中国大陸との交流を示す資料も出土している。まだ確実な港湾施設を確認するにはいたっていないが、この遺跡が交易の拠点として栄えていたことは疑いない。中国山地を介して、瀬戸内海側との交流も認められる。海路や陸路を通じて様々な場所から人が集い、彼らが携えてきたモノや情報が交換されていたのだろう。また古代には古代山陰道が敷設され、近世には北前船の寄港地としても栄えていた。青谷という地域が、時代を通じて交通の要衝だったことをふまえ、「海と交流の歴史を学ぶ」活用を推進する。

#### 「海と交流の歴史に学ぶ」キャッチフレーズ検討案

キーワード	キャッチフレーズ案
海・航海・交流	日本海のクロスロード 2千年前への出航 海と大地に育まれた弥生の文化 漕ぎ出せ！弥生の海へ 弥生の海を渡る！ 海だった、ここ
都市・都・まち	交流拠点としての港湾集落 弥生の港湾都市 弥生の港まち 弥生の海の都 弥生の水都



写真IV -3 板に線刻された船

## 第2節 活用の基本方針

青谷上寺地遺跡では、遺跡の魅力と弥生時代の歴史や文化を体験するための活用の基本方針を基に、多様なニーズに応えることのできる史跡整備を推進し、新たに情報創造することで、「青谷ブランド」を確立する。また、妻木晩田遺跡との一体的な活用に取り組み、両遺跡の連携を通じて「とっとり弥生の王国」を構築し、教育や地域振興の核となる空間を創出する。

### 基本方針1 とっとり弥生の王国

妻木晩田遺跡と共に「とっとり弥生の王国」を建国し、二つの史跡が一体となって鳥取県の弥生文化の魅力を高め、表現する事業を企画、展開しながら、スケールの大きな情報創造に取り組む。

### 基本方針2 弥生文化を体感

青谷上寺地遺跡に関する発掘調査、出土品の調査研究、復元実験などの調査研究によって明らかになった弥生時代における青谷上寺地遺跡の特性を活かして、弥生文化を体感するプログラムや学習活動を展開する。

### 基本方針3 身近な歴史学習教材、体験・学習活動のフィールド

青谷上寺地遺跡の主体となる弥生時代に限らず、縄文時代、古墳時代、そして山陰道や条里が確認された古代、さらには中世以降、現代に至る地域の成り立ちに関する様々な情報を身近な歴史学習教材として有効活用する。また、教育関係機関、NPO法人などと密接な連携を図り、史跡を様々な学習や体験活動を実践するフィールドとする。

### 基本方針4 市民との協働・連携と地域振興

市民が参画する史跡の活用を目指し、地域の伝統・生活文化、ものづくりや芸術文化、人の交流を通じて、新たな文化の創造と地域振興を推進する。

### 基本方針5 国内外との交流・連携

県外及び国外の史跡や博物館などとの交流や連携を通じて、情報創造を図りながら青谷上寺地遺跡の魅力を広く発信していく。

### 基本方針6 歴史遺産観光の資源

観光部局等と連携して、観光資源としての魅力向上に努め、歴史遺産観光の拠点としても活用する。

## 第3節 活用計画

活用の基本方針に基づき、妻木晩田遺跡とともに「とっとり弥生の王国」を構築し、鳥取県

から弥生時代の歴史・文化の魅力を発信するとともに、青谷上寺地遺跡の特性や遺構、出土品に着想を得た体感プログラムを作成し、教育や地域活動との連携、遺跡を核とした地域づくり、国内外の同時代の史跡との交流を通じた情報発信に取り組み、歴史遺産・観光資源としての魅力を向上する。

## 1 とっとり弥生の王国情報創造

海辺に立地する青谷上寺地遺跡は、交易品として玉や木器などを生産し、日本海を行き交う人々の交流拠点として機能していた集落跡である。また低湿な環境に埋没していることから、保存状態に優れた多種多様な遺物が豊富に出土している。一方、大山山麓にあり、日本海を一望する高台が生活の舞台となった妻木晩田遺跡では、膨大な数の建物跡がみつかっており、弥生時代の集落景観が再現されている。こうした特徴をもつ二つの史跡の調査研究を総合して「弥生文化」に接近し、情報を創造することは、両遺跡が貴重な歴史遺産であることを認識し、鳥取県に育まれた弥生時代の文化を理解する上で効果的である。

### (1) とっとり弥生の王国情報発信

これまでも両遺跡は共同でシンポジウムなどを開催して、情報発信を行っているが、今後も調査研究、活用事業などの取り組みを体系的に情報発信するために必要な事業を企画、運営するとともに、さらなる情報創造を推進する。

### (2) とっとり弥生の王国活用プログラム

両史跡は互いに企画するイベントなどを通して相互交流、連携を進めているが、そうした取り組みをより密なものとする仕組みをつくり、それぞれの特徴や魅力を活かした事業を企画、運営していく。



写真IV-4 むきばんだ史跡公園（ジュニアファンクラブ）

### (3) とっとり弥生の王国の基盤整備

妻木晩田遺跡の整備では青谷上寺地遺跡から出土した建築材をもとに建物の復元などを実現しているが、今後とも、両史跡の整備事業において相互に活用できる情報を適切に取り入れ、より客観性の高い整備を推進し、活用事業を展開するために必要な空間や施設を整えていく。

## 2 弥生文化を体感する－調査研究成果にもとづく活用－

発掘調査、出土品調査研究、復元実験など、鳥取県埋蔵文化財センターが進めてきた青谷上寺地遺跡に関する考古学の調査研究や、土木・建築、民族・民俗、動植物、食・生活、芸術、海洋などの分野と連携した研究の成果をもとに、青谷上寺地遺跡の特性や魅力を活かし、弥生時代の文化を体感するプログラムを作成し、体験事業を企画、運営する（図IV -1）。体感プログラムには“ものづくり”“なりわい”“食”“アート”“交流”などのテーマを設けて、それぞれが連動した複合的な運用も検討していく（図IV -2）。

### （1）弥生の“ものづくり”体感プログラム

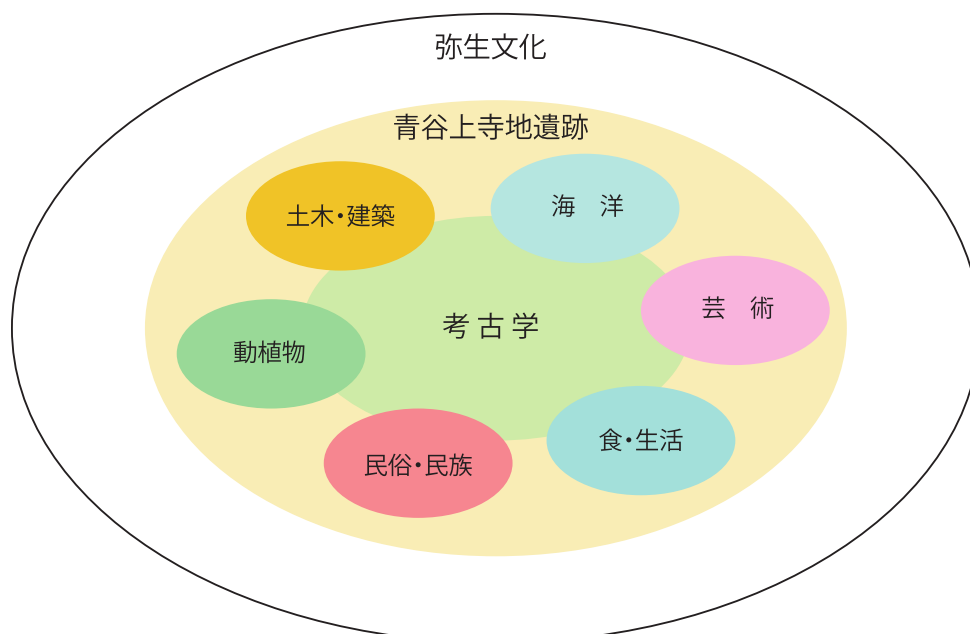
青谷上寺地遺跡では玉作りや木器作りが行われていた。また骨角や石材を加工した様々な製品や、鉄製の工具類、さらには建築材がたくさん出土している。こうした出土品を参考にしながら、弥生時代の生活に密着した“ものづくり”の技術を学習、体感するためのプログラムを作成し、各種体験メニューを企画、運営する。

素材の入手については（2）と連動した複合的な運用も検討する。

### （2）弥生の“なりわい”体感プログラム

青谷上寺地遺跡からは様々な道具類や動植物遺体が出土しており、各種の自然科学分析によって当時の周辺環境なども明らかになっている。また護岸を施した溝や水田跡も見つかっている。こうした調査研究の成果をもとに、弥生時代の農業、漁労、植物採集、土木技術などを学び、自然と共に生きる知恵や生業を体感するためのプログラムを作成し、各種体験メニューを企画、運営する。

使用する道具については（1）と連動した複合的な運用も検討する。



図IV -1 研究成果模式図



### (3) 弥生の“食”体感プログラム

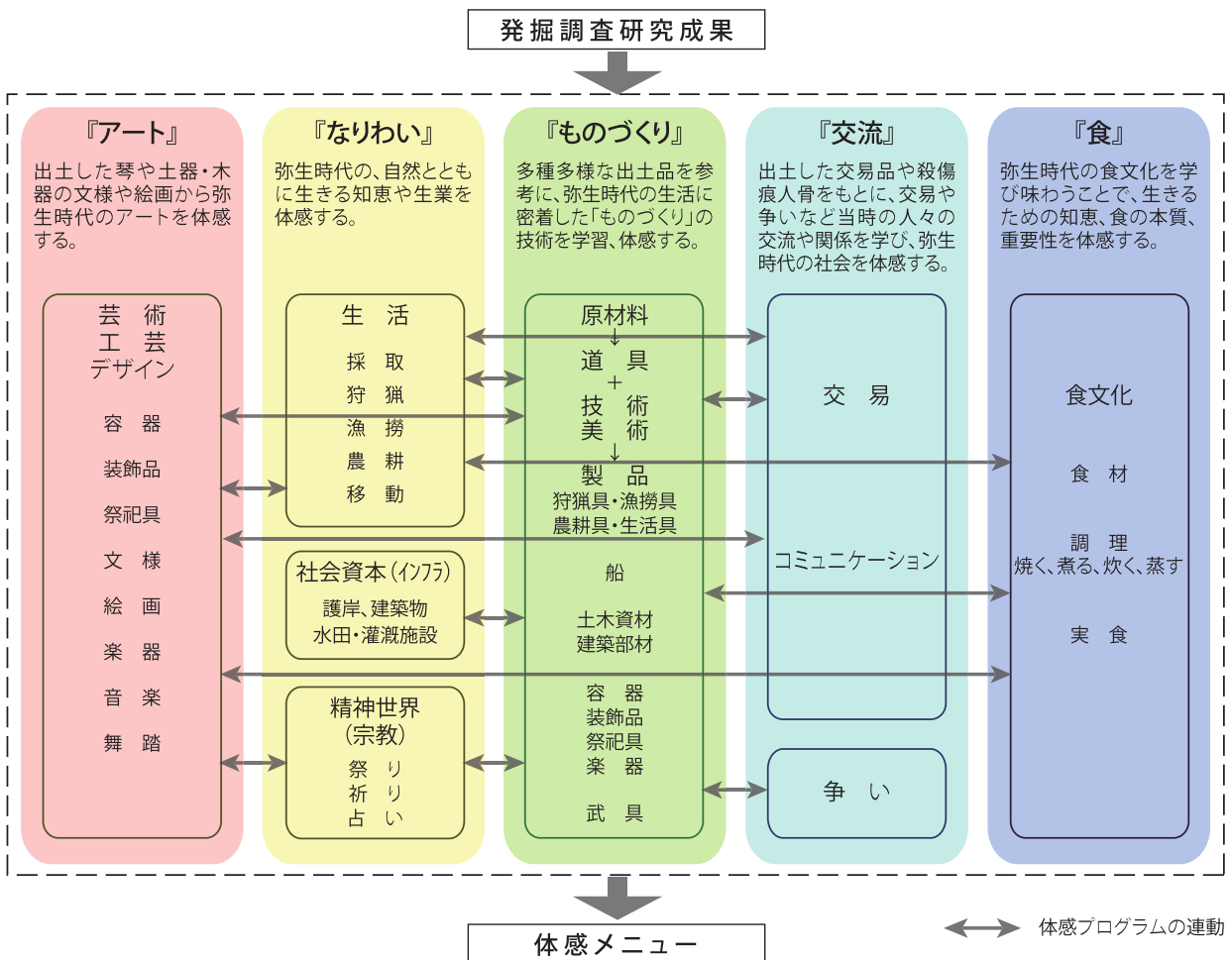
青谷上寺地遺跡から出土した道具類や動植物遺体、さらには自然科学分析の成果をもとに、弥生時代の食材、調理など、当時の食文化を学び、味わうことで、生きるための知恵、食の本質、重要性を体感するためのプログラムを作成し、各種体験メニューを企画、運営する。調理については(1)、食材については(2)と連動した複合的な運用も検討する。

### (4) 弥生の“アート”体感プログラム

青谷上寺地遺跡からは琴などの楽器や、器面に絵画を描いた土器や木製品が出土している。こうした出土品にヒントを得ながら、弥生時代の楽器や演奏、絵画などの表現技術を学び、弥生時代のアートを体感するためのプログラムを作成し、体験メニューを企画、運営する。なお、(1)で体験、習得した技術を活かした取組や、現代アートの視点を導入するなどの複合的な運用も検討する。

### (5) 弥生の“交流”体感プログラム

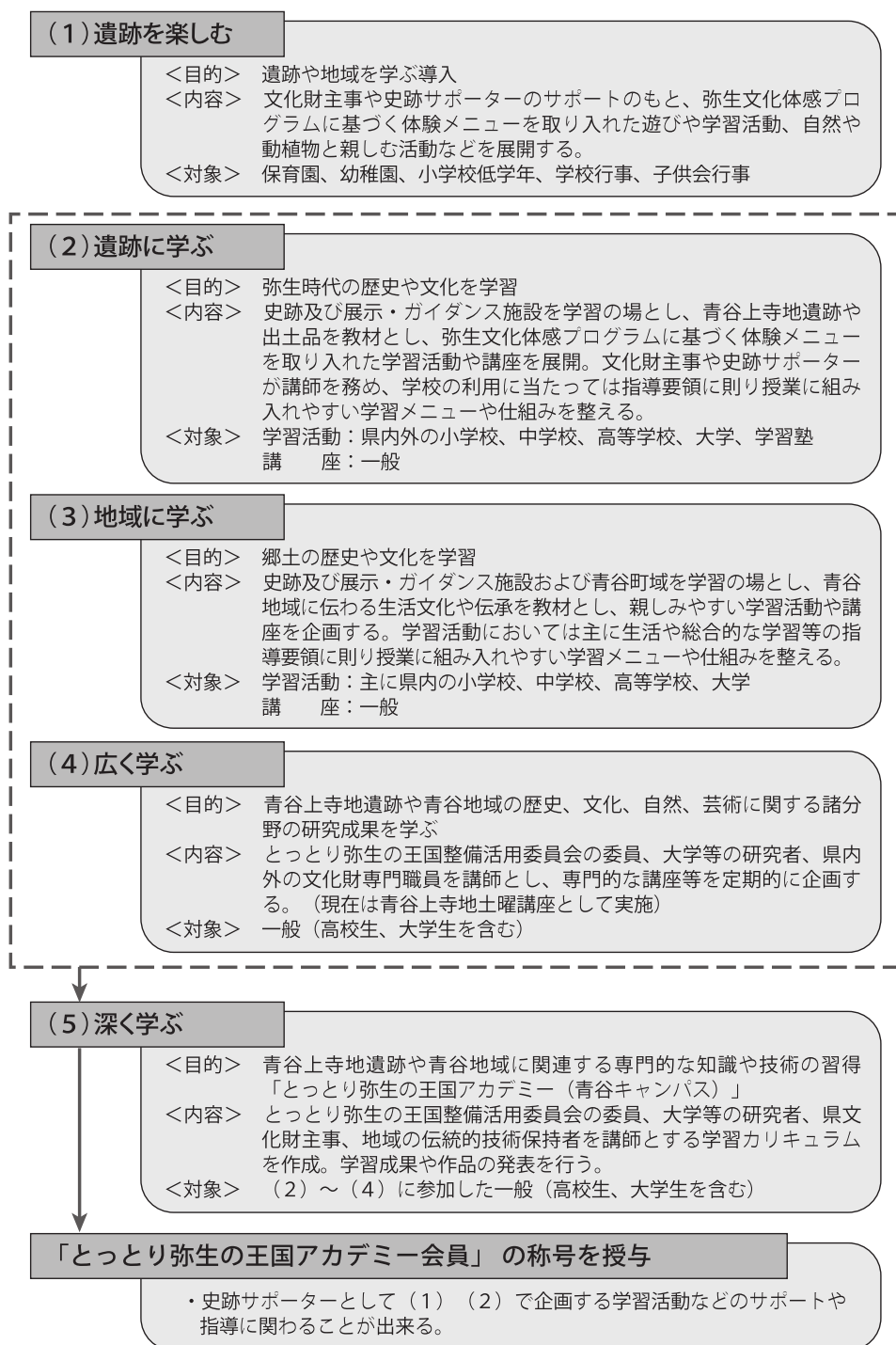
青谷上寺地遺跡からは、船団の絵を描いた板や鏡、鑄造鉄斧などの交易品、殺傷痕人骨などが出土している。こうした出土品をもとに、交易や争いなどを含めた当時の人々の交流や関係を学び、弥生時代の社会を体感するためのプログラムを作成し、体験メニューを企画、運営する。



図IV-2 プログラムの複合的運用イメージ

### 3 弥生文化と地域に学び、楽しむ —教育との連携、学習の場としての活用—

小・中学校、高等学校、大学などの教育関係機関、NPO 法人、地元の人材と連携して、史跡や出土品、史跡周辺の環境を学習教材として有効活用することを検討し、歴史学習はもとより、自然や芸術分野など、様々な学習活動を支援する仕組みを整える。また、一般市民を対象とした専門的な講座なども展開し、学び、楽しむ活動を通じて、専門的な知識や技術を習得した市民が史跡のサポーター（仮称アカデミー会員）として活動できる仕組みをつくる（図IV -3）。



図IV -3 学習活動の仕組みとアカデミー会員授与の流れ

### (1) 遺跡を楽しむ

史跡及び展示・ガイダンス施設を遠足やレクリエーション活動の場として公開し、文化財主事、史跡サポーター（とっとり弥生の王国アカデミー会員）のサポートのもと、弥生文化体感プログラム（前節参照）にもとづく平易な体験メニューなどを取り入れた遊びや学習活動、自然や動植物と親しむ活動などを展開し、遺跡や地域を学ぶ導入とする。

【主な対象】 保育園（所）、幼稚園、小学校低学年、小学校のPTAなどが主催する学年行事や子ども会行事、家族

### (2) 遺跡に学ぶ

史跡及び展示・ガイダンス施設を学習の場とし、青谷上寺地遺跡や出土品を教材とし、弥生時代の歴史や文化を学習する。弥生文化体感プログラム（前節参照）にもとづく体験メニューなどを取り入れた学習活動や講座（ワークショップを含む）を展開する（写真IV-5）。文化財主事や史跡サポーターが講師を務め、学校の利用にあつたては、社会、理科、生活、音楽、図画工作（美術）、家庭科（技術・家庭）、さらには複数の教科を横断する総合的な学習などの指導要領に則り授業に組み入れやすい学習メニューや仕組みを整える。

【主な対象】 学習活動：県内外の小学校、中学校、高等学校、大学、学習塾、地域、職場、講座：一般

### (3) 地域に学ぶ

史跡及び展示・ガイダンス施設にとどまらず、必要に応じて青谷町域を学習活動の場とし、青谷地域に伝わる生活文化や伝承を教材にして、郷土の歴史や文化を学習する。主に青谷町在住または出身の方を講師とし、またはその協力を得て、親しみやすい学習メニューや講座（ワークショップを含む）を企画する。また（2）とも連動した複合的な学習も検討するとともに、学習活動においては主に生活や総合的な学習などの指導要領に則り授業に組み入れやすい学習メニューや仕組みを整える。

【主な対象】 学習活動：主に鳥取県内の小学校、中学校、高等学校、大学、地域、職場、講座：一般

### (4) 広く学ぶ

史跡や青谷町域にとどまらず、視野を広



写真IV-5 弥生の琴づくり（ワークショップ）



写真IV-6 土曜講座（文化財主事によるトークセッション）

げ、青谷上寺地遺跡や青谷地域の歴史や文化、自然、芸術に関連する諸分野の研究成果などを学ぶ。とっとり弥生の王国調査整備活用委員会の委員、大学や研究機関に所属する研究者、文化財主事をはじめとする鳥取県内外の文化財専門職員を講師とし、専門的な講座などを定期的に企画する。なお、現在、実施している事業の中では「とっとり弥生の王国 青谷かみじち遺跡土曜講座」が該当する（写真Ⅳ-6）。

【主な対象】 一般（高校生、大学生を含む）

#### （5）深く学ぶ

（2）～（4）などで企画した講座（ワークショップを含む）での学習をもとに、さらに青谷上寺地遺跡や青谷地域に関連する専門的な知識や技術を深める場として、「とっとり弥生の王国アカデミー（青谷キャンパス）」を構想する。とっとり弥生の王国調査整備活用委員会の委員、大学や研究機関に所属する研究者、文化財主事、地域の伝統的技術保持者を講師とする学習カリキュラムを作成し、専門的な知識や技術の習得を目指し、学習成果（研究）や作品の発表を行う。学習成果や作品が一定の水準を満たした方には「とっとり弥生の王国アカデミー会員」の称号が授与され、史跡サポーターとして（1）（2）で企画する学習活動などのサポートや指導に関わることができる。

【主な対象】 （2）～（4）などで企画した講座（ワークショップを含む）に参加した一般（高校生、大学生を含む）

### 4 史跡を活かした地域振興

史跡の保存活用を推進する地域の組織（青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会）を核としながら、青谷町在住の方々と共に史跡の利活用を検討し、地域振興に資する地域文化を創出する。

#### （1）地場産業と連携

木製容器や骨角器など、青谷上寺地遺跡の出土品をデザインソースとした作品の製作、弥生時代や青谷上寺地遺跡にちなんだ農水産物などの生産や加工を行い、青谷町内の各地区公民館、農業団体、物産販売所などと連携しながら、地域の特産物やお土産を開発するなどの取り組みを後押しする。

#### （2）地域の魅力を探る

地域には有形無形の様々な文化が伝えられており、町並みや地形にも過去の履歴、痕跡が残る場所がある。失われつつあるもの、意識しなければ気づかないものも多いが、そこに青谷上寺地遺跡という新たな魅力が加わった。史跡の整備、活用をきっかけに、青谷地域の成り立ち、歴史や文化を学ぶ機運を高め、魅力を再発見すると共に、活性化に取り組み、地域振興を促す。

#### （3）新たな文化芸術活動の創出と交流

青谷上寺地遺跡からは絵画資料や木製容器に代表される優れた工芸品、土笛や琴などの楽器類といった弥生時代の芸術に関連する資料が出土している。また史跡の周囲には多様な自然が

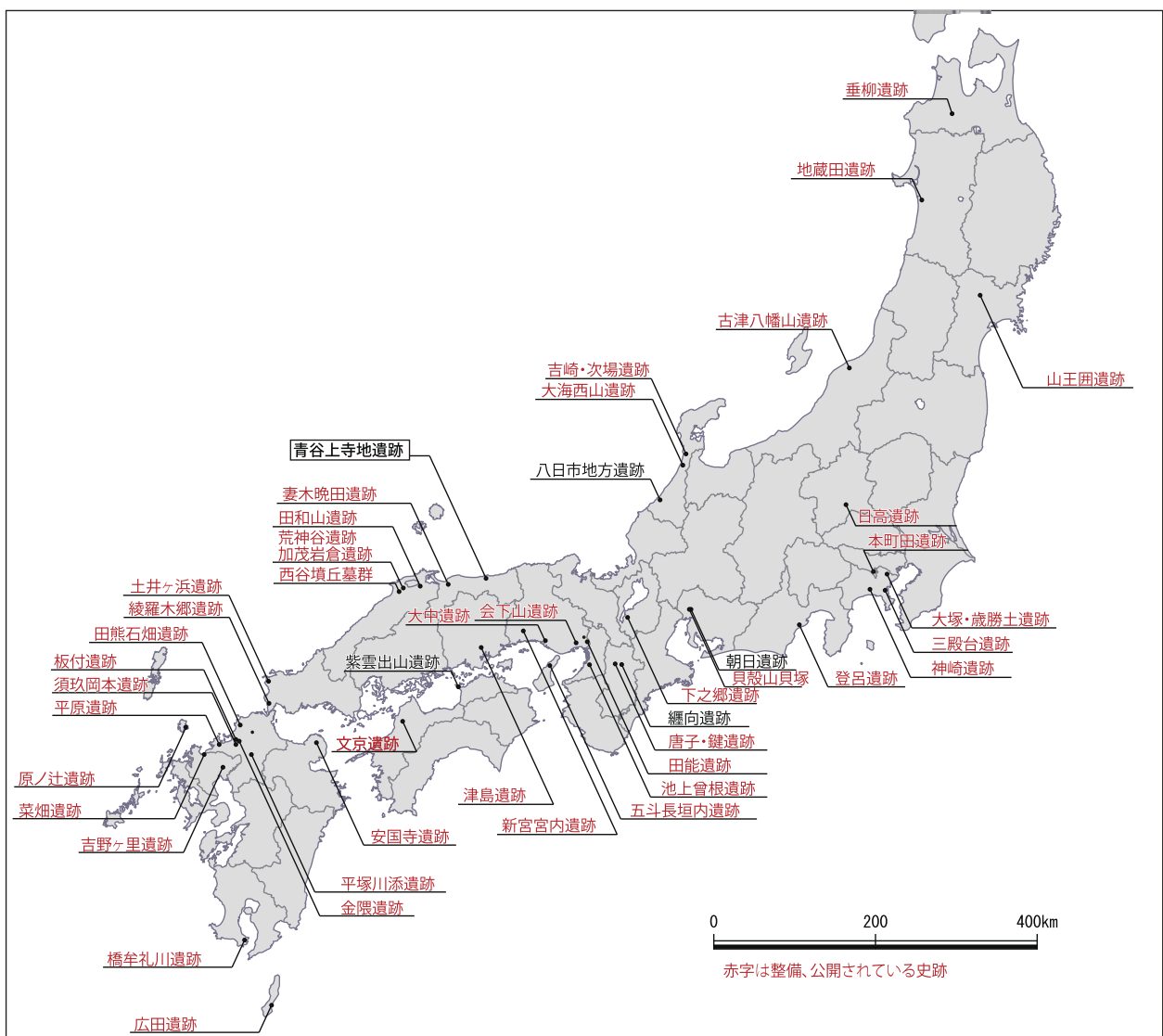
あり、因州和紙の産地として優れた紙製品が今も生産されている。こうした恵まれた環境を活かして、弥生人の芸術感覚を今日の観点から読み解き、新たなアイデアをもとに創作に挑戦する活動を地域全体で支援する仕組みを整備して、文化芸術活動の拠点をつくり、人と人の出会いや交流を推進する。

## 5 国内外の交流・連携による活用

国内外の史跡や博物館などの関係機関と連携した事業を企画し、青谷上寺地遺跡の魅力を外に広く発信するとともに、史跡活用のスケールアップを図り、新たな情報創造を推進する。

### (1) 倭人ネットワーク・・・国内での交流・連携

青谷上寺地遺跡ないし山陰地方との関連性がうかがわれる弥生時代の史跡や博物館などと協力関係を結び、史跡の活用や情報発信に関する「倭人ネットワーク」を構築し、人的交流、情報の交流を活発にして、連携事業を推進する（図IV-4参照）。



図IV-4 日本国内における弥生時代の史跡（倭人ネットワーク）

## (2) 環日本海交流ネットワーク

・・・国外との交流・連携

海外調査研究事業などを通じて関係を構築している環日本海地域（海外）の史跡や博物館などと協力関係を結び、史跡の活用や情報発信に関する「環日本海交流ネットワーク」を構築し、連携事業を推進する。

## 6 観光資源としての活用

史跡の価値に気づいてもらうためには、何より史跡のことを知ってもらう必要がある。鳥取県、鳥取市の観光部局、観光連盟等と連携して、歴史遺産や教育観光資源としての魅力向上を図り、県内の同種観光資源や山陰ジオパーク推進協議会、県外に所在する弥生時代の史跡などと連携して歴史遺産観光ネットワークを構築し、多様なプログラムを提案、展開する。

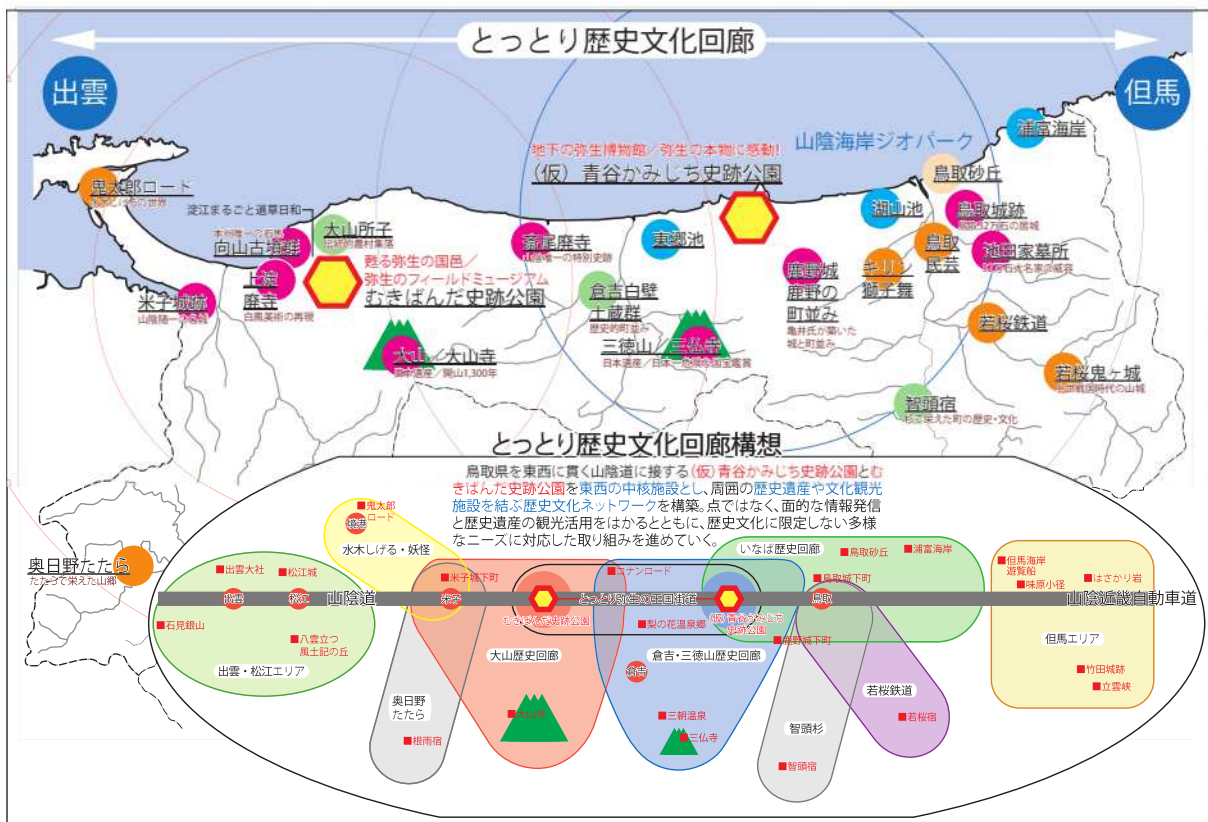


国立慶州文化財研究所が主催する国際シンポジウムに参加し、むきばんだ史跡公園の整備活用や青谷上寺地遺跡における発掘調査研究の成果などを紹介

写真IV-7 韓国の研究機関との交流

## (1) 歴史遺産観光

青谷上寺地遺跡の魅力を観光資源としてブラッシュアップし、山陰地方における歴史遺産



図IV-5 青谷上寺地遺跡と妻木晩田遺跡を核とした歴史文化回廊のイメージ

観光の拠点として、同種観光資源と連携した観光プログラムを提案、展開していく。

#### A 青谷上寺地遺跡と青谷エリア

青谷上寺地遺跡、青谷地区の町並み、あおや郷土館、あおや和紙工房、かちべ伝承館、鳴り砂の浜など

#### B 気高エリア

鹿野城跡・城下町等

#### C 因幡エリア

鳥取城跡、鳥取県立博物館、やまびこ館、池田家墓所、その他国史跡等

#### D とっとりエリア

県東部・中部・西部の史跡や博物館・資料館等

#### E 山陰エリア

山陰全体、特に但馬エリア、出雲・松江エリア等

### (2) 教育観光

近年、青谷上寺地遺跡の出土品は教科書や副教材に取り上げられることも多い。弥生時代を中心とした歴史学習の場として、県外の学校等の立ち寄り、利用を促し、むきばんだ史跡公園と共に鳥取県における教育観光の拠点を形成する。

### (3) 山陰海岸ジオパーク推進協議会と連携した観光（ジオツアー）

青谷上寺地遺跡は山陰海岸ジオパークの一角にあり、大地の恩恵により港として発展した遺跡である。山陰海岸ジオパーク推進協議会と連携を深め、「ジオ」「エコ」「ヒト」の観点から企画されるジオツアーにおいて重要なジオサイトとしての活用を推進する。

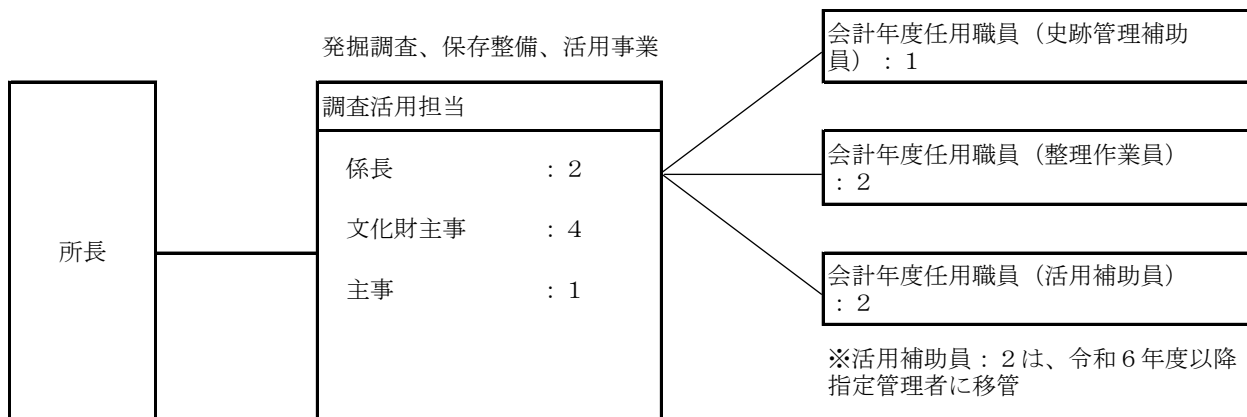
### (4) 県外の弥生時代史跡等と連携した広域観光

青谷上寺地遺跡は弥生時代の交易拠点として列島各地の遺跡と結びついていた。そこで当時の交流を体感する試みとして、前項で交流する日本列島内外に所在する弥生時代（あるいはその併行する時代）の史跡等と連携し、青谷上寺地遺跡を関連づけた広域観光プログラムを提案していく。

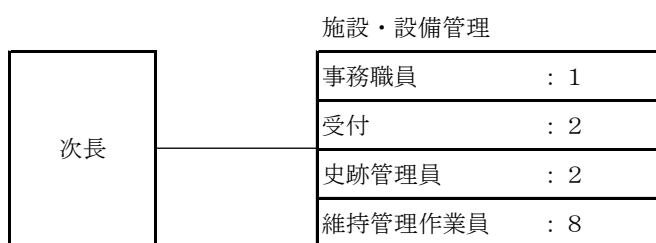
## むきばんだ史跡公園現行組織体制

資料 7

県



指定管理者



県職員

担当	職名	身分	職員数	事務分担
	所長	正規職員	1	施設の総括、人事管理
調査活用担当	係長	正規職員	2	史跡公園の管理運営、財産・物品管理、調査整備事業・活用事業総括等
	文化財主事	正規職員	3	調査整備事業（史跡発掘、史跡整備、修繕）の実施、活用事業（主催事業・受入事業、講座・イベント事業等）の実施・運営等
	主事	正規職員	1	予算執行、収入事務、物品管理補助、一般庶務等
	史跡管理補助員	会計年度任用職員	1	史跡管理業務（植生管理、復元建物修繕等）補助
	活用補助員	会計年度任用職員	2	活用事業（主催事業・受入事業、講座・イベント事業等）の実施・運営補助等
	整理作業員	会計年度任用職員	2	出土品の整理作業等

指定管理者

担当	職名	身分	職員数	事務分担
	次長	正規職員	1	施設の管理運営、財産・物品管理
	事務職員	正規職員	1	予算執行、収入事務、物品管理補助、一般庶務等
	受付	正規職員	2	来園者受付等
	史跡管理員	正規職員	2	史跡管理業務（植生管理、復元建物修繕、公園平開門等）
	維持管理作業員	正規職員	4	史跡管理業務（植生管理、復元建物修繕等）作業



むきばんだ史跡公園 現行職員勤務表の例

資料8

令和〇年度 職員勤務表(県)

通常の勤務時間:8:45~17:30 週:週休日 休:休日 出張:終日出張(予定)の日 振:勤務日振替(休暇)

は休日に勤務を割振る日  
は第4月曜日

※4週間のカウント 〇/〇~〇/〇 この期間中に8日の週休を取得

※〇/〇~〇/〇のカウント  
4週間の勤務日数・週休数

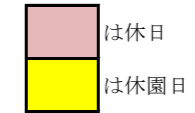
〇月	〇/〇																															
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
所長(〇〇)	週						週		週					週	週							週	週					週	週			
係長(〇〇)		週						週	週					週		週						週	週					週	週			
係長(〇〇)	週						週	週						週	週							週	週					週				週
文化財主事(〇〇)	週						週	週						週	週							週	週				週				週	
文化財主事(〇〇)	週						週	週					週		週						週		週				週				週	
文化財主事(〇〇)	週						週	週						週	週							週	週			週				週		
主事(〇〇)	週						週	週						週	週						週		週				週	週				
活用補助員(〇〇)	17	出	出			出	出		出	出	出			出	出		出	出	出			出	出		出	出		出	出		出	
活用補助員(〇〇)	17			出	出		出	出		出	出	出			出	出		出	出			出	出		出	出		出	出		出	
史跡管理補助員(〇〇)	17		出	出		出	出		出	出	出	出			出	出		出	出			出	出		出	出		出	出		出	
出土品整理員(〇〇)	17		出	出		出			出	出		出	出			出	出		出	出			出	出	出			出	出		出	
出土品整理員(〇〇)	17		出	出		出			出	出		出	出			出	出		出	出			出	出	出			出	出		出	
特記事項・イベント																																
職員対応のある予約団体 ( )内は予約の仮人数																																

勤務日数	週休	土日の週休数
20	8	6
20	8	4
20	8	7
20	8	6
20	8	6
20	8	6
20	8	6
		8
		8
		0

ガイダンス棟・朝	0	3	3	3	3	3	0	0	3	3	3	3	2	1	0	2	3	3	3	3	2	1	0	3	3	2	2	2	2	2	3	
活用担当職員	0	2	2	2	2	2	0	0	2	2	2	2	2	0	0	2	2	2	2	2	2	0	0	2	2	1	2	1	2	1	2	1
管理職・係長	1	2	3	3	3	3	1	1	1	3	3	3	3	0	0	3	3	3	3	3	3	0	0	3	3	3	3	0	1	2	3	2

令和〇年度 職員勤務表 (指定管理者)

通常の勤務時間：8:45～17:30 週：週休日 休：休日 出張：終日出張(予定)の日



むきばんだ史跡公園

〇月		〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇	〇/〇		
氏名	日数/ 時間数	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
次長(〇〇)		出	週休	出	週休	出	出	出	週休	週休	出	出	出	出	出	週休	出	週休	出	出	出	週休	出	出	出	出	出	出	週休	週休	
事務補助員(〇〇)	17		出	出	出				出	出	出		出			出	出	出			出	出			出	出			出	出	
史跡管理員(〇〇)	17				出	出	出		出	出				出	出	出			出	出	出	出		出			出	出	出		
史跡管理員(〇〇)	17	出	出	出	出			出			出	出	出				出	出	出			出	出			出	出			出	
受付員①(〇〇)	15			出	出	出				出	出	出				出	出	出				出	出	出			出	出	出		
受付員②(〇〇)	14	出	出				出	出	出				出	出	出				出	出	出					出	出			出	
特記事項・イベント																															
業務責任者(総務担当) 職員数		1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	1	2	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1
業務責任者(史跡管理員) 職員数		1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1

4週間の勤務日数・週休数

勤務日数	週休	土日の週休数
20	8	

※次長は4週。4週間のカウント 〇/〇～〇/〇

※事務補助員、史跡管理員は月17日の勤務

※受付員は、月15日以内の勤務

RO 妻木晩田遺跡維持管理活用作業予定表 ○月

曜日	日	月	火	水	木	金	土
日付							1
史跡管理員・補助員							〇〇
午前(9:00-12:00)							
午後(13:00-16:00)							
日付	2	3	4	5	6	7	8
史跡管理員・補助員	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
午前(9:00-12:00)		園内点検 9:00~12:00	環境整備(仙谷地区除草) 9:00~16:00		漁労体験準備他 9:00~16:00		
午後(13:00-16:00)		環境整備(仙谷地区枝打) 13:00~16:00					
日付	9	10	11	12	13	14	15
史跡管理員・補助員	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
午前(9:00-12:00)		環境整備(妻木山地区除草) 9:00~16:00	環境整備(妻木山地区除草) 9:00~16:00		〇号住居修繕 9:00~16:00	燻蒸 9:00~12:00	
午後(13:00-16:00)							
日付	16	17	18	19	20	21	22
史跡管理員・補助員	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
午前(9:00-12:00)		7号住居修繕 9:00~16:00	〇号住居修繕 9:00~16:00		〇号住居修繕 9:00~16:00	火おこし体験準備・畑の耕運 9:00~12:00	
午後(13:00-16:00)							
日付	23	24	25	26	27	28	29
史跡管理員・補助員	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
午前(9:00-12:00)		休園日	イベント準備(看板運搬他) 9:00~16:00		イベント準備(椅子設置他) 9:00~16:00	燻蒸 9:00~12:00	
午後(13:00-16:00)						環境整備(仙谷地区除草) 13:00~16:00	
日付	30						
史跡管理員・補助員	〇〇						
午前(9:00-12:00)							
午後(13:00-16:00)							

※1 天候等により急遽、「作業の中止」、「作業内容の変更」または「作業日の変更」をお願いする場合があります。

維持管理等の作業  
イベント準備・補助

## むきばんだ史跡公園 外部委託及び賃貸借の状況(令和4年度)

## 1 外部委託(複数年)

番号	内容	契約総額		備考
1	施設清掃業務	17,787,600	H31.4.1～R6.3.31(5年間)	各月精算払
2	機械警備業務	909,144	H31.4.1～R6.3.31(5年間)	各月精算払
3	浄化槽維持管理業務	1,815,000	R2.4.1～R5.3.31(3年間)	各年精算払
4	ガイダンス施設空調機保守点検業務	2,442,000	R2.4.1～R5.3.31(3年間)	各年精算払
5	消防設備点検業務	198,000	R2.4.1～R5.3.31(3年間)	各年精算払
6	自家用電気工作物保安管理業務	435,600	R3.4.1～R6.3.31(3年間)	隔月払

## 2 外部委託(単年度)

番号	内容	契約総額		備考
1	草刈・芝生管理及び樹木管理業務	13,860,000	R4.6.24～R5.3.20	精算払
2	産業廃棄物処理	108,790	随時(令和3年度実績1回)	精算払(金額は3年度実績額)
3	危険木伐採・撤去	231,000	随時(実績2回)	精算払
4	除雪業務	495,000	単価契約(実績5回)	精算払
5	給茶機定期点検業務	58,300	随時(年度中1回実施)	精算払
6	調査研究棟空調機保守点検業務	245,300	R4.12.15～R5.2.28	精算払
7	売店運営業務	701,000	R4.4.1～R5.3.31	概算払(実績精算)
8	とっとり弥生の王国シンポジウム2022広報・配布資料等作成業務	685,740	随時(実績1回)	精算払
9	とっとり弥生の王国シンポジウム2022動画撮影・配信業務	198,000	随時(実績1回)	精算払
10	とっとり弥生の王国シンポジウム2022記録写真撮影委託	33,000	随時(実績1回)	精算払
11	とっとり弥生の王国シンポジウム2022要約筆記委託	28,475	随時(実績1回)	精算払
12	むきばんだフェスタ「空んぼむきばんだ」大型熱気球搭乗体験等運営委託業務	561,000	随時(実績1回)	精算払
13	「むきばんだフェスタ」メインビジュアルデザイン及びチラシ・ポスター版下作成業務	190,300	随時(実績1回)	精算払
14	むきばんだフェスタシャトルバス(淀江コース)運行管理業務	273,900	随時(実績1回)	精算払
15	むきばんだフェスタシャトルバス(大山コース)運行管理業務	693,000	随時(実績1回)	精算払
16	むきばんだフェスタシャトルバス(マイクロバス)運行管理業務	124,630	随時(実績1回)	精算払
17	むきばんだフェスタFMラジオ公開生放送等業務	187,000	随時(実績1回)	精算払
18	むきばんだフェスタ会場設営等委託業務	1,108,800	随時(実績1回)	精算払
19	「よなご・マルシェinむきばんだフェスタ」運営業務	1,700,000	随時(実績1回)	精算払
20	むきばんだフェスタ駐車場等警備業務	580,635	随時(実績1回)	精算払
21	むきばんだフェスタテレビスポットCM等実施業務	550,000	随時(実績1回)	精算払
22	むきばんだフェスタ記録写真撮影委託	33,000	随時(実績1回)	精算払
23	機織り講座用道具製作	159,500	随時(実績1回)	精算払
24	ライトアップむきばんだ設営・演出業務	990,000	随時(実績1回)	精算払
25	ライトアップむきばんだ駐車場警備業務	84,150	随時(実績1回)	精算払

26	むきばんだ史跡公園学校教材用動画制作業務	517,000	随時(実績1回)	精算払
27	妻木晩田遺跡出土遺物運搬業務	198,000	随時(実績1回)	精算払

### 3 賃貸借(複数年度)

番号	内容	契約総額	備考	
1	事務用パソコン等	709,560	H31.4.1~R6.3.31(5年間)	各月精算払 ※数量の見直しが必要
2	公益法人会計システム	1,581,120	H31.4.1~R6.3.31(5年間)	各月精算払
3	PCA給与システム	775,720	R2.11.1~R6.3.31	各月精算払
4	デスクトップパソコン(1台)	693,000	R2.10.16~R6.3.31	各月精算払
5	軽貨物自動車(ダンプ)	1,511,136	H31.4.1~R6.3.31(5年間)	各月精算払
6	大型プリンタ	372,600	H30.3.1~R4.2.28※	各月精算払、リースアップ品を購入して使用中、R6.8.31メーカー保守期限満了

### 4 賃貸借(単年度)

番号	内容	契約総額	備考	
1	電話設備賃貸借	66,000	R4.4.1~R5.3.31	各月精算払 ※H28から使用。機材更新が必要。
2	足場設置及び賃借	198,000	R4.6.3~R4.6.22	精算払
3	NHK放送受信料	21,307	R4.4.1~R5.3.31	精算払
4	印刷機賃貸借	153,120	R4.4.1~R5.3.31	各月精算払
5	鳥取県立むきばんだ史跡公園におけるAR提供システム賃借料	151,580	R4.4.1~R5.3.31	精算払
6	とっとり弥生の王国シンポジウム2022会場使用料	73,310	随時(実績1回)	精算払
7	むきばんだフェスタに係るジャンボタクシー使用料	34,400	随時(実績1回)	精算払
8	むきばんだフェスタ外ランシーバ賃借料	61,600	随時(実績1回)	精算払
9	むきばんだフェスタ大型バス借上げ	58,300	随時(実績1回)	精算払
10	むきばんだ女子考古部バス借上げ料	126,340	随時(実績1回)	精算払
11	ESET インターネットセキュリティ	8,580	随時(1年分)	精算払
12	官公庁向け Adobe MLP Creative Cloud Complete(12ヶ月)ライセンスパック	242,000	随時(1年分)	精算払
13	園外展示施設等使用料	51,440	随時(実績1回)	精算払
14	複合機使用料	262,620	※参考	県庁一括調達(活用分)、令和4年度実績

## むきばんだ史跡公園 修繕・工事实績(令和2～4年度)

資料10

単位(円)

年度	修繕・工事内容	実績額
2	公用車ガラス修理	26,532
"	自走式草刈り機修理	11,000
"	地下式消火栓取替修繕	171,600
"	芝刈り機修繕	66,440
"	公用車修理	55,000
"	授乳室エアコン取付工事	198,000
"	調査研究棟駐車場防犯灯取付工事	44,000
"	洋風便器取替工事	88,000
"	駐車場区画線等修繕業務	222,000
"	事故損傷修理代免責分	50,000
"	除雪機修理	31,658
"	ガイダンス棟雨漏り修繕工事	73,700
"	給茶機修理	22,000
"	燻蒸用防火金網箱上部開口改修	110,000
"	カーテンロール取付	122,100
"	非常灯予備電池取替	121,000
"	史跡公園内解説板修繕	163,460
"	塀内ガラス面マーク貼り替え	11,000
"	空調機パネル修繕	11,220
"	タイヤパンク修理	2,200
"	監視カメラ設備等点検修繕業務 ※	418,000
"	調査研究棟ホール照明増設に係る修繕 ※	187,000
"	調査研究棟ピクチャーレール取付に係る修繕 ※	112,200
3	門扉落とし棒修理	4,400
"	浄化槽コンセント盤端子台取替	22,000
"	草刈機モア溶接	5,500
"	ウッドデッキ他塗裝修繕	275,000
"	ガラス展示ケース内壁紙貼替修繕	110,000
"	女子トイレ手洗い自動水栓取替	60,500
"	給茶機修理	30,140
"	自動火災報知設備煙感知器取替	24,200
"	ブローアーマシナメット室外装修繕	132,000
"	休憩舎 樋・フードカバー修繕	22,000
"	鍵取り替え修繕	29,260

年度	修繕・工事内容	実績額
〃	レンタサイクル電動自転車スーパーバブル交換	6,600
〃	草刈機モア溶接	16,500
〃	屋外埋設給水管漏水修繕	35,200
〃	公用車ワイパーゴム交換	2,145
〃	自動ドア修理工事	60,500
〃	発電機修理代	24,200
〃	調査研究棟空調機修繕	95,700
〃	展示ケース台クロス張替修繕	198,000
〃	非常照明器具取替	86,900
〃	ガイダンス棟体験学習室雨漏り修繕工事	238,700
〃	体験学習室・映像室照明増設に係る修繕 ※	110,000
〃	「弥生の館むきばんだ」外壁塗装等修繕 ※	269,500
〃	施設内LANケーブル配線増設に係る修繕 ※	145,200
〃	顔出しパネル修繕業務 ※	113,850
4	車庫シャッター修繕	297,000
〃	自動火災報知設備煙感知器取替	47,300
〃	女子トイレ洗面自動水栓出水量調査及び分解清掃	6,050
〃	錠前修理	9,900
〃	感知フラッシュバルブ修繕	94,600
〃	調査研究棟雨漏り修繕	11,000
〃	所長室エアコンドレイン異常修理	110,000
〃	展示コーナー照明修理	4,400
〃	消防設備発信器及び煙感知器修理	38,500
〃	休憩舎(女子トイレ)光電式煙感知器取替	24,200
〃	消防設備不備改修	15,400
〃	遺構展示館看板修繕	129,250
〃	非常用設備用予備電池交換	102,300
〃	事務室エアコン室外機修繕	68,200
〃	遺構展示館スピーカー不具合調査修理	6,600
〃	調査研究棟女子トイレ手洗い自動水栓取替工事	66,000
〃	調査研究棟女子トイレウォシュレット取替工事	96,800
〃	エアコン基板取替	36,300
〃	ガイダンス棟体験学習室系統エアコン修理	60,500
〃	弥生の森休憩舎浄化槽ブロー送風機修繕	10,560
〃	洞ノ原地区スピーカー取替工事	61,600
〃	ガイダンス棟多目的トイレ止水不良修繕	51,700

年度	修繕・工事内容	実績額
〃	ガイダンス棟女子トイレ止水不良修繕	47,300
〃	遺跡案内・散策マップに係る案内板修繕 ※	177,210



## むきばんだ史跡公園 行政財産の目的外使用許可の状況

行政財産の目的外使用許可の状況

令和5年4月現在

所在地	現況地目	使用目的	数量	許可年月日	当初使用許可 年月日	使用許可期間	使用料（円）		相手方		備考
							単価	本年度使用料	住所	氏名	
米子市淀江町 西伯郡大山町	公園（山林）	電力供給配電 線支持物設置	電柱・支線等 12本	R3. 2. 17	H12. 3. 24	R3. 4. 1 ～ R8. 3. 31	年額 1,210	1,210	米子市 加茂町 2-51	中国電力 ネットワーク （株）米子 ネットワーク センター所長	
西伯郡大山町	公園（山林）	電気通信設備 設置	支柱・支線等 9本	R3. 1. 26	H12. 12. 18	R3. 4. 1 ～ R8. 3. 31	年額 0	0	鳥取市 湯所庁 2-258	西日本電信 電話（株） 鳥取支店長	
西伯郡大山町	公園（山林）	電気通信設備 設置	架空送電線3条 架空地線1条	R5. 1. 27	R10. 3. 31	R5. 12. 1 ～ R10. 3. 31	年額 0	0	広島市中区 小町 4-33	中国電力 ネットワーク （株）代表 取締役社長	
西伯郡大山町	公園	職員駐車場	自家用車28台	R5. 4. 1	R5. 4. 1	R5. 4. 1 ～ R6. 3. 31	年額 1,000 減免 1,000	0			

むきばんだ史跡公園 令和4年度主催事業一覧(※1)

講座区分	事業名	期日	対象	募集人数(※2)	概要
とっとり弥生の王国シンポジウム	弥生人の祈り	6月11日(土)	制限なし	150名	最新調査研究成果を県内外の方々に情報発信するシンポジウムを実施 ※オンライン配信あり
とっとり弥生の王国土曜講座	第1回「米子の弥生時代」	9月24日(土)	制限なし	20名	最新調査研究成果を元にした講座を実施 ※オンライン配信あり ※シンポジウムを担当しない年は年5回
	第2回「初期四隅突出型墳丘墓の成立と弥生社会」	10月22日(土)			
	第3回「弥生時代の琥珀から探る地域交流」	12月17日(土)			
	第4回「妻木晩田遺跡を掘る!～発掘調査最新報告2022～」	2月25日(土)			
弥生土器づくり講座	土器づくり	7月16日(土)～17日(日)	高校生以上	10名	実際の出土土器をモデルにし、形態や製作方法を再現した土器づくりを体験
	野焼き	9月3日(土)～4日(日)	高校生以上	10名	覆い焼窯による土器の野焼き技術を体験
弥生の機織り講座		11月5日(土)～7日(月)	高校生以上	8名	原始的な機織りの方法「輪状式腰機」を再現し、苧麻の糸を使って布作りを実施
ハイスクール考古学講座		7月30日(土)～31日(日)	高校生	10名	歴史に興味を持っている高校生を対象に、発掘調査や出土遺物の観察を含む考古学講座を実施
女子考古部		通年(5回程度) ※活動日・活動内容は部員の協議により決定	考古学に興味のある女性	15名	潜在的な考古学ファン(女性)をターゲットにした考古学に関する体験型プログラムを実施
ジュニア考古学教室		7月2日(土)	小学5年生～中学生	10名	考古学の概説と発掘調査の体験を通じて遺跡や歴史に対する関心を高める教室
出張展示	(西部)イオン日吉津	9月10日(土)～12日(月)	制限なし		
	(中部)倉吉未来中心	3月2日(木)～11日(土)	制限なし		
企画展示 ロビー展示	Kid's考古学新聞コンクール 全国巡回展 in むきばんだ	(3月4日(金))～5月8日(日)	制限なし		
	漫画「むきばんだの暮らし」展	7月21日(木)～8月31日(水)	制限なし		
	遺跡からわかる弥生時代の暮らし	9月5日(月)～	制限なし		
	史跡妻木晩田遺跡発掘調査速報展2022	10月10日(月)～2月28日(火)	制限なし		
	Kid's考古学新聞コンクール 全国巡回展 in むきばんだ	3月4日(土)～(4月9日(日))	制限なし		
ジュニアファンクラブ	1回目「結団式、遺跡見学、田植え」	5月28日(土)	小学4～6年生	20名	妻木晩田遺跡や弥生人の暮らしに興味のある小学生を対象に、四季を通じて弥生の衣・食・住の体験を提供(年間活動)  ※令和5年度は、「ジュニア考古学教室」(全5回、各回別申込)に再編。
	2回目「弥生土器づくり」	7月9日(土)			
	3回目「石器・鉄器づくり、収穫」	9月10日(土)			
	4回目「ガラス勾玉づくり、脱穀」	11月12日(土)			

講座区分	事業名	期日	対象	募集人数 (※2)	概要
	5回目「土器炊飯、修了式」	1月7日(土)			
ジュニアはたおり教室		3月4日(土)	小学5年生～中学生	10名	弥生の機織り講座の内容を子ども向けにアレンジして実施
弥生の森講座	秋の自然と弥生のくらし学習会	10月1日(土)	制限なし(小学生以下保護者同伴)	30名	むきばんだ史跡公園内で秋に見られる特徴的な植物についての解説、木の実を採取
イベント	むきばんだ日和！ -Yayoinpicむきばんだ- ※コロナ禍前は「GWは、むきばんだ日和」として実施。R5はGWに実施。	5月21日(土) ※5月3日～5日	制限なし (自由参加)		様々な弥生体験を競技形式で楽しめるイベントを企画。 ※ゴールデンウィーク期間に日替わりで様々なイベントを実施
	むきばんだフェスタ	10月16日(日)	制限なし (自由参加)		多くの方に遺跡に親しんでもらうため大規模な弥生体験イベントを実施。あわせて、遺跡に訪れていただくきっかけとするためマルシェを開催。
	ライトアップむきばんだ	3月24日(金)～25日(土)	制限なし (自由参加)		復元竪穴住居や墳丘墓をライトアップするとともに、多目的広場の桜ライトアップを実施
弥生体験	弥生体験	土曜日、日曜日、祝日 (夏休み期間は毎日)	制限なし(当日の規定時間内に申込み)		勾玉づくり、火起こし体験といった弥生時代に行われていた活動を体験
	はくつ体験	5月～11月の日曜日、祝日	制限なし(当日の規定時間内に申込み)		発掘体感広場で発掘作業を体験
(参考)他団体 主催事業	古代と自然探検隊	7月27日(水)	小学4～6年生	24名	遺跡見学や弥生体験等を通して、自然に親しみながら古代の生活や文化を学ぶ。
	なりきり弥生人生活(宿泊体験)	①8月20日(土)～21日(日) ②8月27日(土)～28日(日)	ファミリーまたはグループ	1日程につき3家族	「弥生のムラ」で、弥生時代の衣・食・住の生活体験を通じて、弥生時代の生活文化を体感
	竹ランタンづくり ハスランタンづくり	①3月21日(火・祝) ②3月24日(金) ③3月25日(土)	制限なし(小学生以下保護者同伴)	①10人×5回、②③10人×3回	むきばんだ史跡公園主催「ライトアップむきばんだ」連携企画として実施

(※1)コロナ禍のため中止や日程変更をしたものを含む  
(※2)コロナ対策のため人数をコロナ前の半数程度に減らしている

むぎばんだ史跡公園 売店及び自動販売機の設置状況

